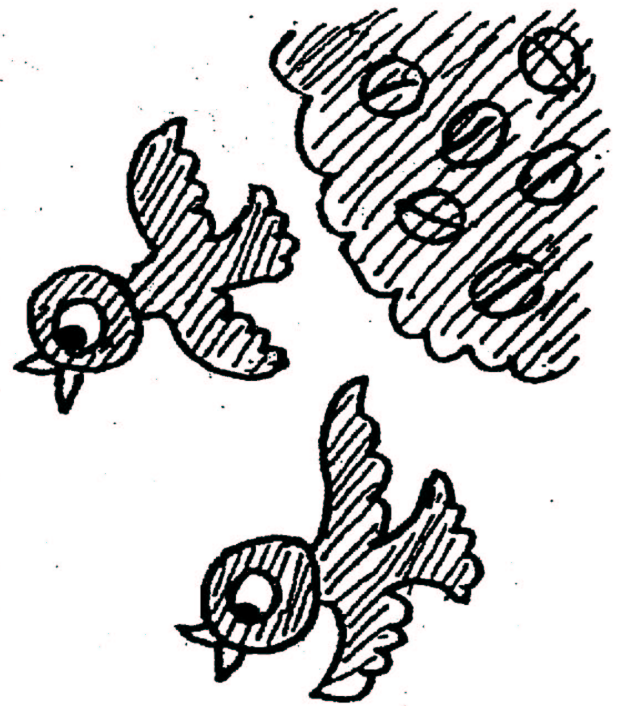




1995.3.7 No.44

バンクラテシユ

てをつなぐ会



みんながつくる総会に!

4月22日午後から早良市民センターで「てをつなぐ会」の総会がひらかれます。会員・協力会員もふえ、社会的に注目される会になってきました。ほんとうにありがとうございます。でも、ごく一部の人が動いているという状態たのもたしかです。

みんなの音が、意見が、個性が、生かされ、集められるような会にしたい。

(この総会とそのための第一歩になるようにしたい、と心から

ねがっています。

みなさまのご協力を

よろしく!

(大木)



日本から送る医療器具の免税手続きが済みました

母子保健センターで使う医療器具の一部を日本から調達する予定です。しかし、日本から物を送るには送料の他に税金もかなりかかります。またパングレッシュに着いてから国内運搬にあたってはかなりお金がいります。そこでショングニ・シヨンスタはいろいろ働きかけ「手をつなぐ会」より約束したのに対しては免税にすることができました。10日ほど前にショングニ・シヨンスタのザホールが電話でその情報を知らせてくれました。わずか1ヶ月で政府の許可が下りたという話には本当にびっくりしました。官僚制の厚い壁を通り抜けて、こんなに短い時間で免税の許可が下りるとは夢にも思わなかったのです。話によると、カラムディや周辺村出身者の何人かがグッカで高い地位に就いています。彼らは今まで、このような活動にそれ程関わりを持つ機会がありませんでした。でも現在、彼等は時々村に戻り、村の発展に貢献しようとしています。今回は彼等の有力な協力のおかげで医療器具の免税許可が早く下りたようです。

ありがとうございました。ロータリーの皆さん! ♥

ロータリーアンたちの中にショングニ・シヨンスタの活動が理解され、毎年その輪が広がっています。昨年に続いて今年は、城東・宗像・前原や小郡ロータリー・クラブが協力して下さり、60万円を送金させていただきました。最近、カラムディ中学校の生徒数が急速に増加しています。昨年も1クラスになんと85人の生徒が勉強せざるを得ませんでした。その問題が少しでも解決できるように、ロータリーのお金を使わせていただきます。中学校の校長先生によると、そのお金で3つの仮教室（トタン屋根と竹の壁）を作り、3人の臨時教員を雇うということです。また必要な設備もそのお金の範囲で買います。ロータリー・クラブを通じて「手をつなぐ会」の活動に対する理解も広がっています。二ノ坂さんと私は上記の1つのクラブの例会に参加させていただき、昨年の現地訪問の実態やこれからの計画を話しました。私たちに貴重な時間を与えてくださってありがとうございました。また組織としてだけでなく、ロータリーアンたちの中に個人として「手をつなぐ会」の会員になってくださった方も何人かいます。個人会員も歓迎します。これから他のロータリー・クラブも理解してくだされば幸だと思います。

皆さんのご協力を心より感謝します。(ラフマン)



いきさん 一貴山小学校で国際協力キャンペーン

2月13日(月)二丈町の一貴山小学校で、6年生と地域の人達と一緒に社会教育が行われました。6年生は、社会科の授業のなかでアフリカ難民のことを学び、自分たちにできることは何かを話し合いました。その成果を発表したあと、「手をつなぐ会」の二ノ坂さんが「日本にとって大切な国際協力とは」と題してお話ししました。

学級通信に載せられた豊くんという子供の感想文です。

キャンペーンの後、二ノ坂先生の講演がありました。

それは、ぼくたちにもわかりやすく、とても聞きやすい講演でした。

ぼくたちは、難民への間接的な協力は行っているけれど、直接援助に行ったことがないから、どういいうところで、どんな人がいるのかわからなかったけど、今日それがかなりわかりました。

ぼくは、今日の講演をきいて、驚いたことがたくさんありました。

それは、日本に外国人が来ても、別に驚くことはないけど、日本人がバングラデシュに行くと、とてもよろこばれるということや、川・池を風呂にすることや、文字が見えないところで勉強することや、日本の阪神大震災にわずかな時給の中から、お金を送ってくれた子供がいたことです。

その中で、一番驚いたことが、難民の少年が送ってきた義援金の話です。難民はいろいろな国からいろいろな支援を受けています。それは、生活が大変で、生きるのが苦しいからです。でも、その少年は一日中働いて10～50円にしかないお金をこつこつためて、自分の生活も大変なのに、阪神大震災の人のために、17800円を送ってくれたのです。

それは、日本で集まっているお金と比べれば、そうすごい金額ではありません。しかし、二ノ坂先生が言ったように、そのお金をずっと働いて、みんなでためたことに、お金の額以上に価値があると思います。

話は少し変わるけど、ぼくたちは、前、いらなくなったものを送ることについて、どうするかを考えました。そのとき、いらなくなった物を送ることは失礼になるという結論になったけど、そのことを二ノ坂先生は、最初からそう考えているというところがすごいと思いました。

今日のキャンペーン、講演会は地域の人だけでなく、ぼくたちにも勉強になりました。

会員の声

一度行きたいカラムディ村

発足当初から名前だけの会員で現在に至っています。「行動を起こさなければ真のボランティアではない」と自責の念を抱くのですが、最近、老化まで荷担して困っています。

でも今年は、ぜひ現地訪問団に加えて頂きたいと思いベンガル語講座に参加しています。覚えが悪くて苦しんでいます。「継続は力なり」と自分に言い聞かせながらやっていますのに講座日を忘れてたりして……。

カラムディ村に！そして村の人々に是非お会いしたい！

その気持ちだけは・・熱いのです。

(村里やよい)

ジャン・T・モックさんのピアノ・コンサート

Bangladesh Charity Concert を開催します。ピアノの美しい音色をお楽しみください。

収益金はカラムディ村の奨学金として使われます。

<日時> 4月22日(土) 18:30～

<会場> 城南市民センター

住所 福岡市城南区片江5-3-25

電話 092-862-2141

<入場料> 1000円

問い合わせ 今給黎靖子(電話) 092-591-1129

会員みなさまへ

会の仕事に皆さんのご協力を！

先月号の瀬良さんの〈声〉の中に、志のある会員が有効に力を発揮できるように、「どんな仕事があるのか、具体的に提示し、会員は自分の得意な分野、好きなこと、したいことなどを申告してはどうでしょう。」という提案がありました。会員それぞれが、仕事や家庭やそのほかのボランティア活動などを持っているので、全員がお互いに顔を会わせる機会がなかなかありません。でも、会の活動を通じて全員が同じ気持ちでカラムディ村の人々を支援し、また日本の人々にも呼びかけていきたいものです。

会の仕事は全体的に、質、量とも大幅に増えてきています。特に

(1)事務的な仕事が増えていきます。会計、会員の把握・名簿整理、会員その他の連絡を受けたり発信したり、総会・運営委員会などの議案書や報告書作り、などです。

(2)ミロンに関しては、毎月発行しており、社会的評価も高まってきています。会の歴史としても価値あるものになりつつあります。ミロンが会員の手元に届くまでには、企画立案、原稿書き、ワープロ打ち、印刷、紙折り、発送などの作業があります。

(3)現地訪問に関しては、事前の募金協力呼びかけ、現地での活動内容の検討、物品の購入、事前研修、などがあり、帰国後には報告書作り、スライド・ビデオ作り、報告会などがあります。ラフマンさんを中心に現地との連絡も必要です。国内に残るサポート部隊の方にも、できるだけ事前研修などにも一緒に関わっていただき、現地訪問の意味を広く知らせたり、報告会を開くための準備を一緒に進めたりしていきたいと考えています。

(4)チャリティコンサートやバザーなどの大きなイベントは、会のなかに実行委員会を作って、責任を分担して進めていきたいと考えています。

(5)そのほか、いろんな仕事が皆さんをお待ちしています。また、会員の皆さんの得意な分野、またはやってみたい仕事をお知らせいただくと、必ずそれを生かせる仕事が見つかります。

どうぞ、積極的なご協力を。

大木さんの教会（事務所）にいつでもお寄りください。

バングラの子どもと絵の交換を

ガールスカウトの中学生たち

3月4日(土)の夕方から福岡市草ヶ江の聖公会福岡教会でガールスカウト中学生の集まりがありました。

いくつかのグループに分かれて食事づくり。

ケーキづくり、会場係などみんな楽しんでさう

に働いています。夕食のあと、スライドを

写しながらバングラデシユのお話をしまし

た。そのあとバングラデシユの子どもたちが

描いたクレヨン画をくばりました。そして

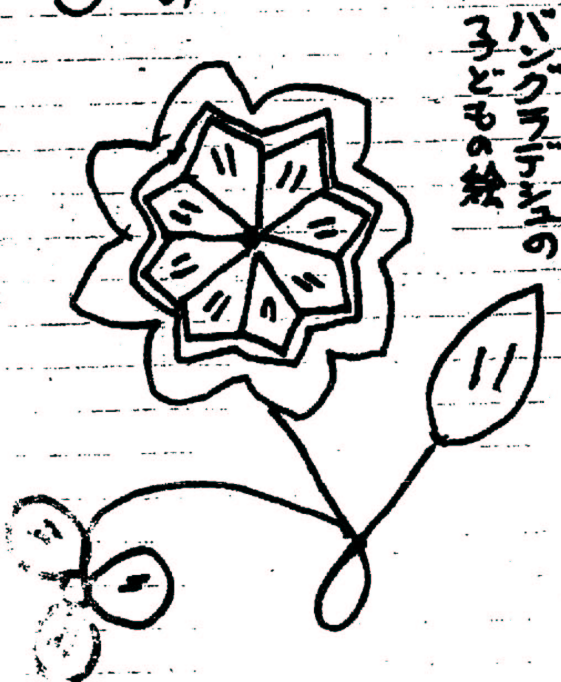
日本からも絵とかんたんな手紙をかきこ

とにしました。40人あまりの元気な少女たち

がどんな絵を描いてくれるでしょう。楽しみ

です。

(大木松子)



バングラデシユの
子どもの絵



(6)

糸島地球市民ふれ合いフェスタ

5月14日(日)〔雨天の場合は21日(日)〕

前原中央公園において“地球市民ふれ合いフェスタ”の楽しい催しが計画されています。参加メンバーは、JCメンバーフェスタ・各NGO団体・青年スクールなどです。“手をつなぐ会”はNGO団体の一つとして参加します。

11時20分より12時20分までバザールも開かれ、その後 バンド演奏・民族舞踊も予定されています。多数参加して楽しいひとときを過しましょう。



NGO福岡ネットワーク

3月定例会のご案内

NGO福岡ネットワークも1月に初めての総会を開き、各団体・会員とも新しい年の飛躍へ張り切っています。今年は特に、参加者の質を高めるための学習に重点を置きたいと考えています。3月は以下の予定で行いますのでどうぞお気軽にご参加ください。

日時：3月18日(土) 午後2時～5時

会場：福岡学生交流会館4F和室

博多区店屋町4-1 TEL 092(262)0505

- 内容：
1. NGO会計セミナーの報告
 2. 「開発教育とは何か？」——その導入

お知らせ

春ですね!

総会について

4月22日(土) 2:00~
会場 早良市民センター
でお知らせします。
多数のご参加をお願いします。



チャリティーバザール

6月4日(日) 1:00
西新商店街住友生命前
不用品など5月末まで
大木さん宅へ
日用品・食品など好評です。

運営委員会

3月19日(日)
1:30 大木さん宅
4月16日(日)
1:30 大木さん宅

作業日

3月8日(水) 1:30
9日(木) 1:30
4月5日(水) 1:30
6日(木) 1:30



Bangladesh と手をつなぐ会

〒814

福岡市早良区西新5-5-13

FAX・TEL092(822)5795

代表 大木松子

送金先 郵便振替

01720-2-10442

加入者名

Bangladesh と手をつなぐ会